

音楽を中心としたミュージックシティ中野への展開

中野サンプラザは若者文化、コンサートの拠点として昭和の時代から全国的に著名となっています。そこで、中野サンプラザ再開発もこれを継承していくべきと考えます。

そして、周辺再開発も音楽に呼応したデザインコードをもちいて、中野サンプラザがイベントを誘致するのではなく、「NAKANO」という音楽に特化した街がイベントを誘致し、都市間競争を勝ち抜いていきます。

音楽を基にしたゾーニング

中野四丁目：閑静な音楽家ゾーン

都市公園、広場を中心とした自然環境の中、鳥、風、緑の香り等が環境音楽として人々を癒す

中野五丁目：にぎわい音楽家ゾーン

商店街に訪れる人々の会話、ざわめき、アジアのエネルギーが街のにぎわい活性化する

中野二丁目、三丁目
：閑静な音楽家ゾーン

閑静で、良好な住宅街における高質な居住環境から中野のイメージをあげる。

街の連続、連携を醸し出す音楽アイテム・デザイン

音符街路樹： 中野通り等の樹木の高さ、間隔を曲に合わせた音符配列（ド、レ、ミ）にし、眼で楽しむ曲を作成する。

楽譜歩道： 楽譜そのものを歩道デザインに導入する

指揮棒街路灯、トランペット街路灯：楽器に模して、デザインする。

鍵盤歩道： ピアノの鍵盤のデザインを歩道に導入する。

歩道のガード：ティンパニのスティックをデザインに導入

案内板： 楽譜台のデザイン

椅子： ティンパニ、木琴デザイン

マンホール： シンバルのデザイン